




論文審査結果の要旨

論文提出者	濱 中 一 平		
論文審査委員	主 査	松 家 茂 樹	
	副 査	佐 藤 博 信	
	副 査	福 島 忠 男	
論文題目	Mechanical properties of injection-molded thermoplastic denture base resins		
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>本研究では、ノンメタルクラスデンチャーに用いられているポリアミド系、ポリエチレンテレフタレート系、ポリカーボネート系熱可塑性樹脂の機械的性質を検討している。各材料について三点曲げ試験により比例限での曲げ強さおよび曲げ弾性係数を、シャルピー衝撃試験により衝撃強さを測定した。ポリエチレンテレフタレート系樹脂およびポリカーボネート系樹脂の曲げ強さは加熱重合型アクリルレジンの約80%であり、ポリアミド系樹脂は40~60%の範囲にあった。弾性係数は、ポリアミド系樹脂が加熱重合型アクリルレジンの約40-50%であり、最もたわみやすい材料であった。ポリエチレンテレフタレート系樹脂およびポリカーボネート系樹脂は、加熱重合型アクリルレジンの同程度の高い弾性係数を示した。弾性係数の低い樹脂が必ずしも高い衝撃強さを示すとは限らないことを明らかにしている。本結果は、ノンメタルクラスデンチャー製作における義歯用材料選択時のガイドラインとして適用可能であり、臨床での義歯作成に有用な知見を与えている。従って、本論文が学位論文に値すると結論した。</p>			